

主題：命の木

メッセージ 1

命の木のビジョン

聖書：創 2:9. ヨハネ 1:1, 4, 29. 11:25. 15:1. 啓 2:7. 22:2, 14, 19

I. わたしたちが必要とするビジョンとは、聖書がわたしたちに、神が命の木としてのキリストの中でわたしたちの食物となるという絵を提示しているというのを見ることです。こういうわけで命の木は、聖書の初めと終わりで述べられているのです——創 2:9. 啓 22:2, 14。

II. 「エホバ・神は……園の中央に命の木……を生えさせられた」——創 2:9：

A. 神のかたちに、神の姿にしたがって人を創造することでの神の目的は、人が彼を命として受け入れ、彼のすべての属性において彼を表現するということでした——1:26-27. 2:9。

B. 命の木が表徴するのは、三一の神がキリストの中でご自身を彼の選ばれた民の中へと、命として食物の形で分与するということです——9節。

C. 命の木は宇宙の中心です：

1. 神の目的によれば、地は宇宙の中心であり、エデンの園は地の中心であり、命の木はエデンの園の中心です。ですから、宇宙は命の木を中心とします。

2. 命の木ほど、神と人にとって中心的で重要なものはありません——3:22. 啓 22:14。

D. 神の定められた御旨を成就する道は命の木です——創 1:26. 2:9：

1. 神の定められた御旨の二つの面（神の表現と神の代行）はいずれも、命の木にかかっています——1:26。

2. 神のエコノミーと神の建造は、命の木によって遂行されます——エペソ 3:9-11. 2:21-22. 4:16。

E. 人は創造されたとき、神聖な命が与えられたものではありません。そうではなく、人は、命の木によって表徴される命を選ぶ自由意志が与えられました——創 2:7-9, 16-17。

F. 新約は、キリストが命の木の型の成就であることを啓示しています：

1. ヨハネ第1章4節は、キリストについて語って、「彼の中に命があった」と言います。これは、創世記第2章の命の木によって表徴される命を指しています。

2. 創世記第2章に展示されている命は、キリストにおいて肉体と成った命でした——ヨハネ 1:1, 14. I ヨハネ 5:11-12。

3. わたしたちはヨハネ第1章4節と第15章1節を一緒にするならば、命またぶどうの木であるキリストが、命の木であることを認識します。

4. ヨハネによる福音書に啓示されているすべてを含むキリストのすべての面は、命の木の結果です——1:17. 8:12. 10:9, 11。

III. 「勝利を得る者には、神のパラダイスにある命の木から食べさせよう」——啓 2:7：

A. ギリシャ語で啓示録第2章7節の「木」は、I ペテロ第2章24節のように、「木材」

を意味します。それは「木」に対する通常の言葉ではありません——参照、使徒 5:30、10:39、13:29-30、ガラテヤ 3:13。

B. 聖書で命の木が表徴するのは常に、わたしたちの食物のための神のすべての豊富の具体化としてのキリストです（コロサイ 2:9、創 2:9、3:22, 24、啓 22:2, 14, 19）。啓示録第 2 章 7 節で命の木が表徴するのは、十字架につけられ（一片の木材としての木で暗示される——I ペテロ 2:24）、復活した（神の命で暗示される——ヨハネ 11:25）キリストです。

C. 今日キリストは、その究極的完成が新エルサレムである召会の中におり、その中で十字架につけられ復活したキリストは、神の贖われたすべての人のための命の木となって、永遠に至ります——啓 22:14, 19。

IV. 「その川のこちら側にも向こう側にも命の木があって、十二種の実を結び、その実は毎月みのり」——啓 22:2 :

A. 啓示録第 22 章の命の木は、小羊の多くの要素を含んでいます :

1. 創世記第 2 章の命の木はエホバ・神を指していますが、啓示録第 22 章の命の木は神と小羊を指しています——1-2 節。

2. 創世記第 2 章で、神はまだ、肉体と成り、十字架につけられ、復活して命を与える霊と成っていませんでした。啓示録第 22 章で、神はすでに肉体と成ること、十字架、復活の過程を経過していました——ヨハネ 1:14, 29、7:39。

3. エコノミー的に、聖書の終わりの神は、聖書の初めの神と異なっています——創 1:1、啓 22:17 :

a. 初めに、創世記第 1 章で、彼はエホバ・神ですが、啓示録第 22 章で、彼は神と小羊です。

b. エデンの園における神の内側の要素は、今日、贖う神としての彼の内側の要素と異なっています。ですから、啓示録第 22 章における命の木は、神の要素だけでなく小羊の要素も含んでいます——1-2 節。

B. 命の木は、神が初めから意図していたことを永遠にわたって成就します——創 2:9、啓 22:2, 14, 19 :

1. 今日、命の木としてのキリストの享受は、信者の共通の分け前です——ヨハネ 6:35, 57。

2. 千年王国で、命の木としてのキリストの享受は、勝利を得た信者たちに対する経綸上の褒賞となります——啓 2:7。

3. 新しい天と新しい地で永遠にわたって、命の木としてのキリストの享受は、神の贖われたすべての者の永遠の分け前となります——22:14, 19 :

a. 命の木の実は、永遠において神の贖われた物への食物となります。これらの実は絶えず新鮮であって、毎月、生み出されます——2 節。

b. 命の木が十二種の実を結ぶという事実が意味するのは、命の木の実が豊富で、神の永遠の行政を遂行するのに十分であるということです。